

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、私達を取り巻く環境に着目し、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成した教材です。

本指導資料では、環境教育掲示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

自然を大切にして、世界の目標にチャレンジ！

①表題



②ねらい

世界が取り組むSDGsについて知り、その目標の中に、自分たちにもできる環境問題への取組があることを考え、環境の保全に向けた実践を行おうとする態度を育成する。

③環境教育で対象とする主な内容 (ESDの構成概念)

自然や生命の尊重(多様性・公平性)、生態系の保全(相互性・責任性)、資源の有限性(有限性) ※環境教育指導資料 P8、P9 参照

④主なSDGsとの関連

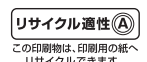
【SDGs6】安全な水とトイレを世界中に、【SDGs7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに、【SDGs12】つくる責任つかう責任、【SDGs13】気候変動に具体的な対策を、【SDGs14】海の豊かさを守ろう、【SDGs15】陸の豊かさを守ろう

⑤主な活動

活動内容 (○主な活動)	教師の支援 (◇留意点)	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、SDGsの意味を知る。 ○掲示用教材②を見て、17の目標があることについて確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">山や海や川の自然を見てみよう</div> ○掲示用教材③を基に、絵を見て気付いたことを学級全体で話し合う。 ○掲示用教材④を参考に、自然を守るため、自分にできることを考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇SDGsの読み方(エス・ディー・ジーズ)及び意味を伝える。 ◇自然の大切さについて考えさせるとともに、川や海をよごさないことの大切さを伝える。 ◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。 ◇SDGsの中には、児童にもできる目標があることに気付かせる。 ◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要があることに気付くよう、活動を振り返らせる。	◆掲示用教材① ◆掲示用教材② ◆ワークシート① ◆環境教育指導資料 P10～ ◆環境教育指導資料 P98～ ◆掲示用教材③ ◆ワークシート② ◆掲示用教材④ ◆ワークシート③

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。

※東京都教育委員会ホームページで、環境教育指導資料及び本掲示用教材のイラストや図表等を公開しています。



かんきょうもんだい 環境問題についてしらべて、じぶん 自分にできることをやってみましょう。
しぜん たいせつ 自然を大切に、せかい もくひょう 世界の目標にチャレンジ！

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前

① エスディーゼーズ SDGs ってなに？



② やま うみ かわ しぜん み 山や海や川の自然を見てみよう



③ しぜん 自然をまもるために、じぶん 自分にできることはないかな？

